

2018年3月期  
第2四半期  
決算概要

2017年10月31日

(株)フジ・メディア・ホールディングス

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値など、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

# 2018年3月期 第2四半期 連結決算概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	前 期	当 期	対前期増減		2Q累計 業績予想 (5/11)	対予想増減	
売 上 高	327,601	<b>311,816</b>	▲15,784	▲ 4.8%	317,900	▲6,083	▲ 1.9%
営 業 利 益	13,301	<b>11,669</b>	▲1,632	▲12.3%	9,100	2,569	28.2%
経 常 利 益	17,735	<b>15,634</b>	▲2,100	▲11.8%	12,800	2,834	22.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12,732	<b>11,609</b>	▲1,122	▲8.8%	8,800	2,809	31.9%

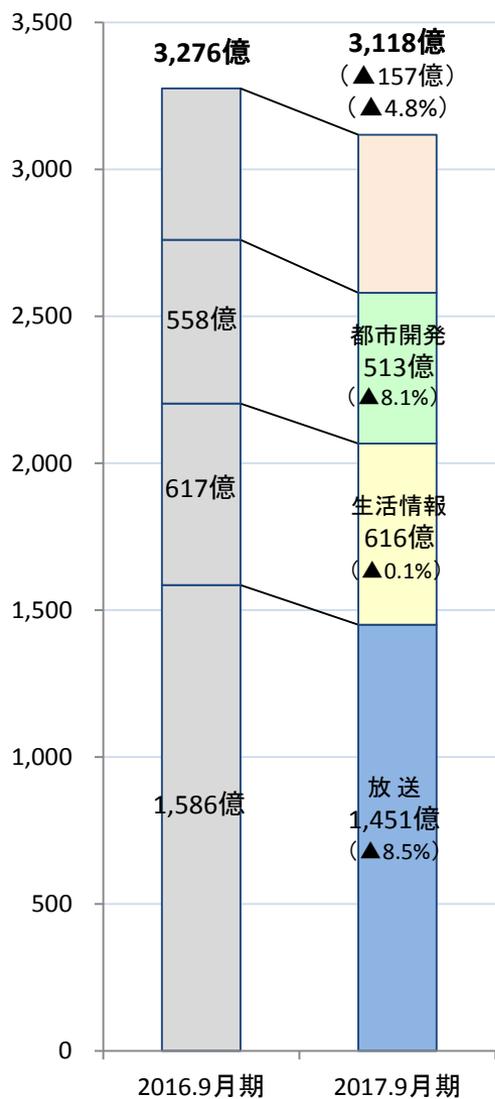
# セグメント別の売上高及び営業利益

《2017/4～2017/9》

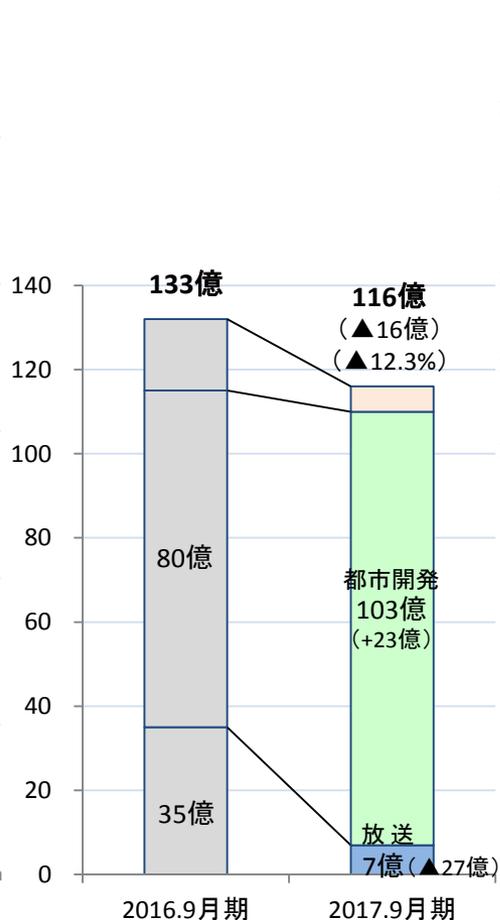
(単位:百万円)

	事業セグメント									合計	調整額	連結 損計算 上額
	放送 事業	制作 事業	映像 音楽 事業	生活 情報 事業	広告 事業	都市 開発 事業	その他 事業					
売上高	当期	145,191	24,301	23,418	61,679	21,524	51,391	15,002	342,509	▲30,692	311,816	
	前期	158,641	24,186	23,134	61,738	22,199	55,893	14,181	359,975	▲32,374	327,601	
	増減	▲13,449	115	283	▲59	▲674	▲4,502	820	▲17,465	1,681	▲15,784	
	増減%	▲8.5%	0.5%	1.2%	▲0.1%	▲3.0%	▲8.1%	5.8%	▲4.9%	—	▲4.8%	
営業利益	当期	776	858	▲358	▲144	200	10,387	264	11,984	▲315	11,669	
	前期	3,512	1,008	180	▲24	132	8,039	351	13,200	100	13,301	
	増減	▲2,736	▲150	▲539	▲120	67	2,347	▲86	▲1,216	▲415	▲1,632	
	増減%	▲77.9%	▲14.9%	—	—	51.2%	29.2%	▲24.6%	▲9.2%	—	▲12.3%	

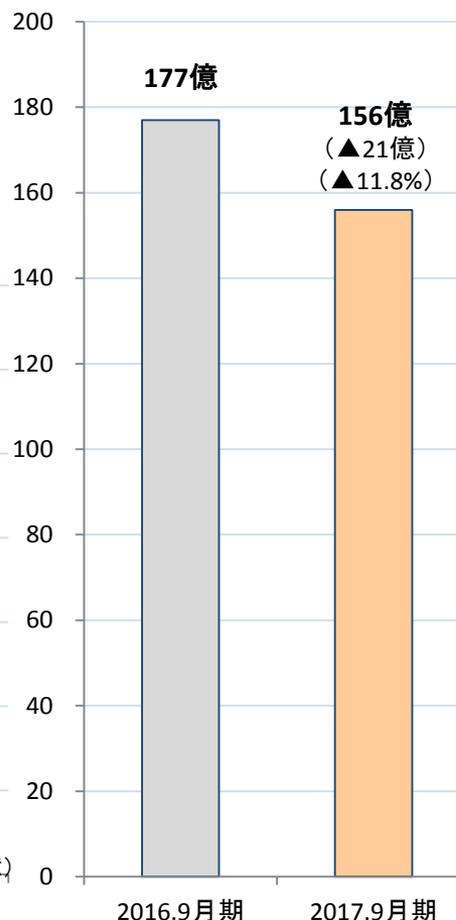
# 2018年3月期 第2四半期 連結決算概要(前期比較)



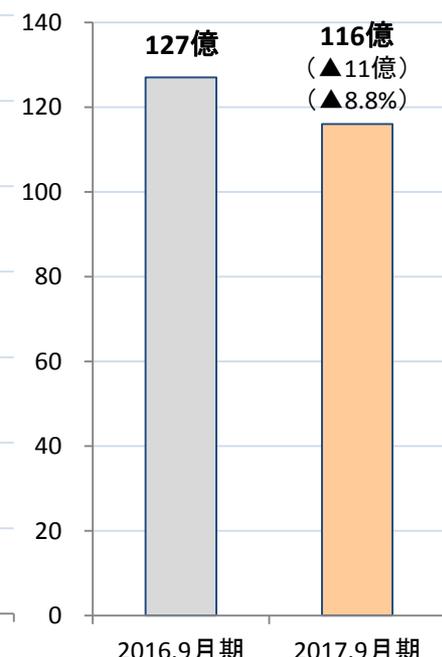
売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する  
四半期純利益

# 第2四半期決算(4月-9月)業績のポイント

連結営業利益116億円 減収減益



## 放送(フジテレビ)

- 放送収入の減収をカバーできず、減収減益
- イベントは前期の大型作の反動で減収  
映画は二次利用収入が収益貢献

## 生活情報

- ディノス・セシールは、ディノス事業の施策が奏功  
カタログ、テレビ通販ともに堅調に推移 増収増益
- サンケイリビング新聞社は苦戦  
セグメント全体では減収赤字幅拡大

## 映像音楽(ポニーキャニオン)

- パッケージの販売不振 見込み下回る  
配信、海外販売などノンパッケージ分野は拡大
- 在庫の廃棄損計上で赤字幅拡大

## 都市開発(サンケイビル/グランビスタ)

- サンケイビル 保有ビルの売却で資産開発事業  
が貢献 ビル事業も堅調 増益
- グランビスタ  
ホテルが好調、前期の改修工事の影響も解消

# <セグメント詳細>放送事業 会社別概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
フジテレビジョン	144,165	<b>127,213</b>	▲16,952 (▲11.8%)	2,305	<b>▲836</b>	▲3,142 (-)
ビーエスフジ	8,340	<b>8,483</b>	143 (1.7%)	1,171	<b>1,431</b>	260 (22.3%)
ニッポン放送	7,092	<b>7,048</b>	▲44 (▲0.6%)	79	<b>133</b>	54 (69.1%)
その他及び セグメント内修正等	<b>▲957</b>	<b>2,447</b>	—	<b>▲43</b>	<b>46</b>	—
合計	158,641	<b>145,191</b>	▲13,449 (▲8.5%)	3,512	<b>776</b>	▲2,736 (▲77.9%)

# <セグメント詳細>制作事業 会社別概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
フジクリエイティブ コーポレーション	6,271	<b>7,703</b>	1,432 (22.8%)	422	<b>399</b>	▲22 (▲5.4%)
共同テレビジョン	7,211	<b>6,849</b>	▲362 (▲5.0%)	186	<b>91</b>	▲94 (▲50.7%)
その他及び セグメント内修正等	10,702	<b>9,748</b>	—	400	<b>366</b>	—
合 計	24,186	<b>24,301</b>	115 (0.5%)	1,008	<b>858</b>	▲150 (▲14.9%)

# <セグメント詳細>映像音楽事業 会社別概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
ポニーキャニオン	15,885	<b>16,021</b>	136 (0.9%)	▲269	<b>▲848</b>	▲579 (-)
その他及び セグメント内修正等	7,249	<b>7,396</b>	—	450	<b>490</b>	—
合計	23,134	<b>23,418</b>	283 (1.2%)	180	<b>▲358</b>	▲539 (-)

# <セグメント詳細>生活情報事業 会社別概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
ディノス・セシール	54,335	<b>54,687</b>	352 (0.6%)	3	<b>170</b>	166 (-)
その他及び セグメント内修正等	7,402	<b>6,991</b>	—	▲28	▲314	—
合 計	61,738	<b>61,679</b>	▲59 (▲0.1%)	▲24	▲144	▲120 (-)

# <セグメント詳細> 広告事業 会社別概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
クオラス	22,199	<b>21,524</b>	▲674 (▲3.0%)	132	<b>200</b>	67 (51.2%)
セグメント内修正等	—	—	—	▲0	▲0	—
合計	22,199	<b>21,524</b>	▲674 (▲3.0%)	132	<b>200</b>	67 (51.2%)

# <セグメント詳細>都市開発事業 会社別概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
サンケイビル	36,586	<b>30,201</b>	▲6,384 (▲17.5%)	6,158	<b>6,365</b>	207 (3.4%)
グランビスタ ホテル&リゾート	14,423	<b>15,548</b>	1,124 (7.8%)	1,744	<b>2,164</b>	420 (24.1%)
その他及び セグメント内修正等	4,883	<b>5,640</b>	—	137	<b>1,857</b>	—
合計	55,893	<b>51,391</b>	▲4,502 (▲8.1%)	8,039	<b>10,387</b>	2,347 (29.2%)

# 営業外収益・費用の主な内容

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

		前 期	当 期	対前期増減	
営業外収益					
	受取配当金	1,549	<b>1,761</b>	212	13.7%
	持分法による 投資利益	2,048	<b>1,576</b>	▲472	▲23.1%
	その他	2,036	<b>1,541</b>	▲495	▲24.3%
営業外収益合計		5,635	<b>4,879</b>	▲755	▲13.4%
営業外費用					
	支払利息	760	<b>628</b>	▲132	▲17.3%
	その他	440	<b>285</b>	▲154	▲35.2%
営業外費用合計		1,201	<b>914</b>	▲286	▲23.9%

# 特別利益・損失の主な内容

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

		前 期	当 期	対前期増減	
特 別 利 益					
投 資 有 価 証 券	益	45	<b>778</b>	733	—
投 売 却					
そ の 他		48	<b>102</b>	54	112.7%
特 別 利 益 合 計		93	<b>881</b>	787	839.2%
特 別 損 失					
固 定 資 産	損	207	<b>101</b>	▲106	▲51.3%
除 却					
投 資 有 価 証 券	損	21	<b>81</b>	59	276.9%
投 評 価					
退 職 給 付 制 度	損	—	<b>108</b>	108	—
改 定					
そ の 他		1,209	<b>108</b>	▲1,101	▲91.1%
特 別 損 失 合 計		1,439	<b>399</b>	▲1,039	▲72.2%

# セグメント情報(連結子会社)

セグメント		会社名	会社数		
放	送	フジテレビジョン、ビーエスフジ、ニッポン放送、仙台放送	4社		
制	作	フジクリエイティブコーポレーション、共同テレビジョン、バスク、フジ・メディア・テクノロジー、NEXTEP、フジアール、バンエイト、共同エディット、ベイシス	9社		
映	像	音楽	フジ・ミュージックパートナーズ、ポニーキャニオン、ポニーキャニオンエンタープライズ、エグジットチューンズ、フジパシフィックミュージック、シンコーミュージック・パブリッシャーズ、FUJI MUSIC GROUP、ARC MUSIC、ARC/CONRAD MUSIC	9社	
生	活	情	報	サンケイリビング新聞社、ディノス・セシール、リビングプロシード、ディノス・セシールコミュニケーションズ	4社
広	告	クオラス	1社		
都	市	開	発	サンケイビル、グランビスタホールディングス、甲子園開発、サンケイ会館、グランビスタホテル&リゾート、サンケイビルウェルケア、サンケイビルテクノ、サンケイビルマネジメント、SKB USA、SKB Seattle	10社
そ	の	他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト、フジゲームス、フジキャリアデザイン、FUJISANKEI COMMUNICATIONS INTERNATIONAL、Fuji&gumi Games	7社	
合	計			44社	

※赤色は当期から連結

# フジテレビの業績

# 2018年3月期 第2四半期 フジテレビ決算概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	前期	当期	対前期増減	
売上高	144,165	<b>127,213</b>	▲16,952	▲11.8%
営業利益	2,305	<b>▲836</b>	▲3,142	—
経常利益	2,670	<b>▲612</b>	▲3,283	—
四半期純利益	1,647	<b>▲522</b>	▲2,169	—

# 放送事業 収入と原価

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
放送事業収入	107,951	▲9,495	▲8.1%
放送収入	91,884	▲8,723	▲8.7%
ネットタイム	38,847	▲6,573	▲14.5%
ローカルタイム	6,649	228	3.6%
スポット	46,387	▲2,378	▲4.9%
その他 放送事業収入	16,066	▲771	▲4.6%
番組販売	8,755	106	1.2%
C S 放送・その他	7,311	▲878	▲10.7%
放送事業原価	77,221	▲5,326	▲6.5%

# スポット収入 業種別動向

2017年7月～9月

※管理ベース

業種	前年シェア	シェア	対前期増減
化粧品・トイレタリー	15.8%	15.2%	▲7.6%
情報・通信・放送	13.1%	14.5%	▲6.5%
非アルコール飲料	8.6%	8.5%	▲4.1%
食品	8.5%	7.7%	▲12.1%
自動車・関連品	6.3%	7.4%	▲14.0%
医薬品・医療用品	5.6%	6.7%	▲15.9%
出版・エンタテインメント	7.4%	6.6%	▲13.6%
外食・各種サービス	5.6%	5.6%	▲3.8%
金融・保険	5.3%	4.9%	▲10.4%

業種	前年シェア	シェア	対前期増減
衣料・身回品・雑貨	3.2%	4.6%	▲37.6%
事務・精密・光学機器	2.8%	3.4%	▲16.7%
流通・小売業	4.3%	3.1%	▲29.9%
アルコール飲料	2.9%	3.0%	▲1.0%
不動産・住宅設備	3.1%	2.7%	▲16.7%
交通・レジャー・観光	2.4%	2.4%	▲5.7%
電話サービス	2.0%	1.8%	▲13.6%
家電・AV機器	1.4%	0.9%	▲33.1%
エネルギー・機械	0.4%	0.4%	▲12.6%
その他	1.5%	0.7%	▲56.3%

# 番組制作費

(単位:百万円)

	前期	当期	増減
第1四半期	21,599	20,495	▲5.1%
第2四半期	23,619	20,305	▲14.0%
上期	45,218	40,801	▲9.8%
第3四半期	21,709		
第4四半期	21,295		
下期	43,004		
通期	88,223		

※自社制作番組及び購入番組の直接費

# その他事業 収入と原価

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
その他事業収入	19,261	▲7,456	▲27.9%
催物事業収入	5,343	▲6,717	▲55.7%
映画事業収入	4,476	▲483	▲9.7%
デジタル事業収入	4,112	470	12.9%
MD事業収入	2,182	▲539	▲19.8%
ビデオ事業収入	1,002	▲138	▲12.1%
その他の収入	2,143	▲49	▲2.2%
その他事業原価	15,780	▲5,983	▲27.5%

# 販管費及び営業外損益概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
販売費及び 一般管理費	35,047	▲2,500	▲6.7%
販売費	24,594	▲1,896	▲7.2%
一般管理費	10,453	▲604	▲5.5%
<b>営業費用合計</b>	<b>128,049</b>	<b>▲13,810</b>	<b>▲9.7%</b>
<b>営業利益</b>	<b>▲836</b>	<b>▲3,142</b>	—
営業外収益	346	▲163	▲32.1%
営業外費用	122	▲21	▲15.1%
<b>経常利益</b>	<b>▲612</b>	<b>▲3,283</b>	—

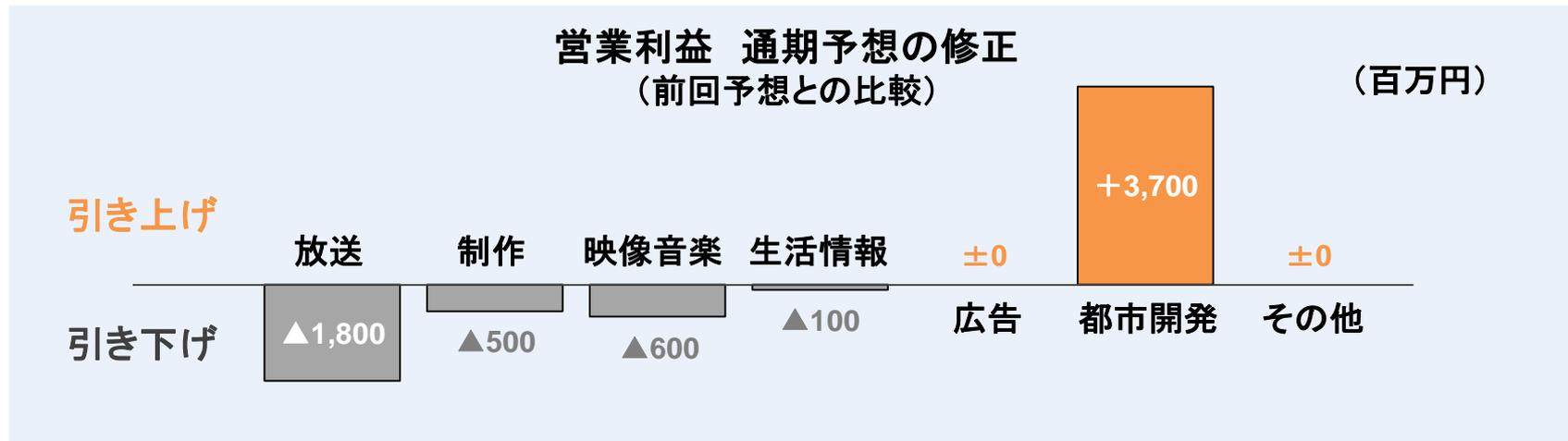
# 2018年3月期 業績予想

# 業績予想修正のポイント

通期の連結営業利益予想235億円は修正なし

都市開発事業を上方修正

放送、制作、映像音楽、生活情報事業は引き下げ



## 放送 (フジテレビ)

- 放送収入の見込みを下方修正
- 費用コントロールとその他事業の収益で利益確保を目指す

## 映像音楽 (ポニーキャニオン)

- 在庫の廃棄損計上の影響が響き、下方修正
- 引き続き、ノンパッケージ分野へのシフトを図る

## 都市開発 (サンケイビル・グランビスタ)

- 上期の資産開発事業で大きく見込みを上回り、上方修正
- 新規オフィスビルやホテルを順次開業予定 収益基盤拡大へ

# 2018年3月期 業績予想の修正

《2017/4～2018/3》

(単位:百万円)

連結	通期予想	前回予想	増減額
売上高	644,600	661,500	▲16,900
営業利益	23,500	23,500	—
経常利益	30,500	30,500	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	21,300	21,300	—

# セグメント別業績予想【通期】

《2017/4～2018/3》

(単位:百万円)

	事業セグメント										合計	調整額	連 損 計 算 上	結 益 書 額
	放 送 事 業	制 作 事 業	映 音 事 業	像 楽 業	生 情 事 業	活 報 業	広 告 事 業	都 開 事 業	市 発 業	そ の 他 事 業				
売上高	通期予想	294,000	47,200	47,200	129,900	43,500	111,400	29,400	702,600	▲58,000	644,600			
	前回予想	300,900	50,400	50,000	135,700	43,500	106,900	31,800	719,200	▲57,700	661,500			
	増減額	▲6,900	▲3,200	▲2,800	▲5,800	—	4,500	▲2,400	▲16,600	▲300	▲16,900			
営業利益	通期予想	6,400	1,400	700	1,200	400	14,200	▲100	24,200	▲700	23,500			
	前回予想	8,200	1,900	1,300	1,300	400	10,500	▲100	23,500	—	23,500			
	増減額	▲1,800	▲500	▲600	▲100	—	3,700	—	700	▲700	—			

# 設備投資計画と減価償却費

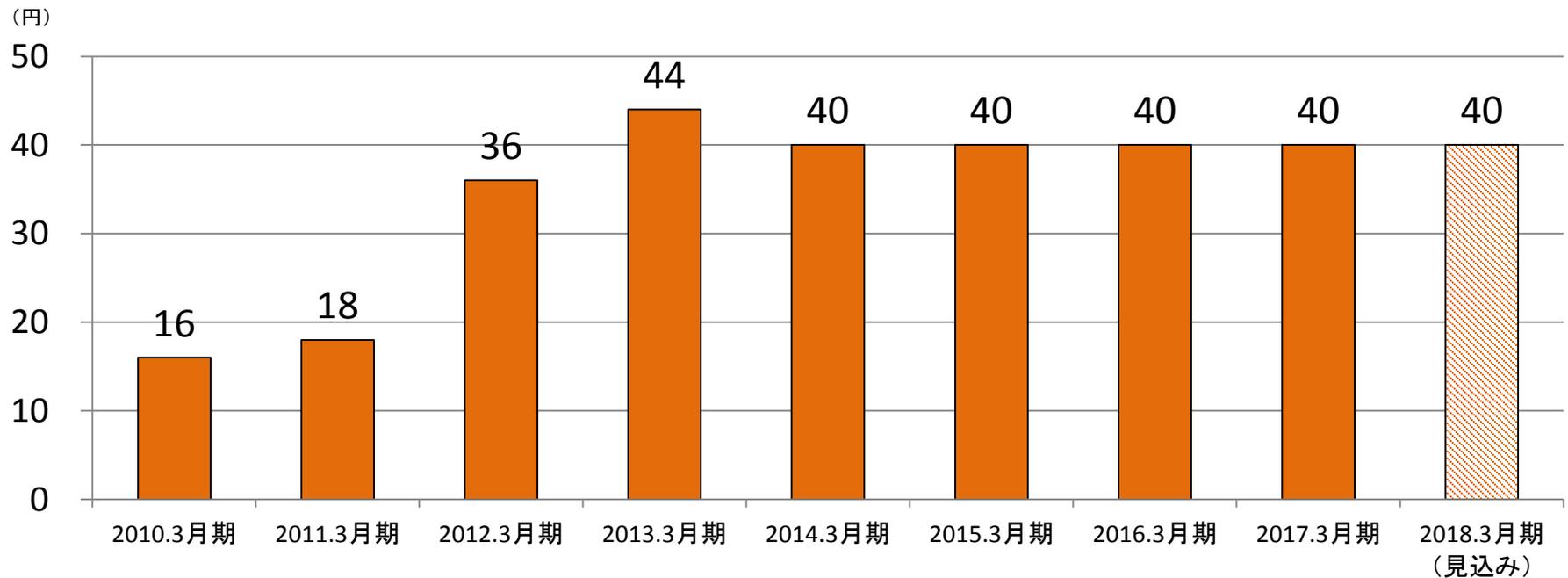
(単位:百万円)

		2018年3月期		2019年3月期 通期 (計画)
		上期 (実績)	通期 (計画)	
設備投資額	連結	16,347	48,100	44,200
	フジテレビ	2,278	9,800	11,000
	都市開発事業	12,644	34,200	28,300
	フジ・メディアHD	136	800	800
減価償却費	連結	8,706	18,400	21,300
	フジテレビ	3,614	7,800	9,200
	都市開発事業	2,205	4,400	6,000
	フジ・メディアHD	1,138	2,400	2,000

# 株主への利益還元

目標配当性向40%を基本に配当の安定性等を考慮

2018年3月期 年間配当 40円（変更なし）



※単元株制度の導入に伴い、2013年10月1日を効力発生日として1株につき100株の割合で株式分割を行いました。過去の配当実績は分割後の株式数で算定した値を記載しています。